

単元名 将来の生き方を考える

第3学年「職業や自己の将来にかかわる課題」

1 単元のねらい

自己実現へ向けて夢ノートを利用し、自身の将来についての発表をすることを通じて、将来に対する自身の思いについて改めて気付くことができる。

探究的な活動を通して、他者と関わり、自分の良さや長所に気付き、進路選択に活かすことができる。

2 単元の目標

自己を見つめることを通して、進路選択や、自己実現についての理解を深めるとともに、夢ノートを使い、自ら課題を見つけ主体的に判断し、自分の進路を考える態度を育てる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①進路選択を見据えた調べ学習を通して、進路決定のために情報収集をする中で、自己実現へ向けた自分の思いを理解している。	④自分の進路選択について、理想との隔たりから課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考えている。	⑧進路選択の体験を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。
②自分自身の進路について他者に伝えることを通して、他者と適切に関わりについて理解している。	⑤自己実現のために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり、関連付けたりしながら解決に向けて考えている。	⑨課題解決の状況を振り返り、あきらめず粘り強く取り組んでいる。
③自分の将来について自己を見つめ直しながら進路を考えると共に、探究的に学んだことによる成果を身に付けている。	⑥伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	
	⑦自分の考えをまとめ他者に伝えることを通して、自分自身の理解が深めている。	



ポイント1

4 題材について

生徒が将来について主体的に考えるきっかけとして、自己実現に向けて様々な場面で活用されている夢ノートを利用した。生徒にとって将来について考えさせようとしても漠然としており、考えにくいものである。そこで、夢ノートを使用することにより、学びの足跡をもとに自身の夢について確認することができ、将来の夢や希望について考えやすくなるのではないかとの思いから、夢ノートを使用した発表の課題を設定した。

発表後の話し合いでは、グループ内でよいところを積極的に挙げられる時間にしようと試みた。生徒にとって自分のことを客観的に考え、自己理解を深めることは難しい。そこで、自身の良い部分を客観的に気付けるよう、自身の良いところを自分と仲間の双方から書いたイトカードを使った話し合い活動を行った。

5 指導と評価の計画（全 25 時間時間中の 8 時間）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1.自己実現に向けた進路選択について考える（2）	<ul style="list-style-type: none"> 今まで調べてきた情報（職業調べ、職場体験学習、高校調べ）をもとに、進路選択の概要を知る。 自己実現のための進路選択について主体的に学習する。 	①			・発言
2. 夢ノートづくり（2）	<ul style="list-style-type: none"> 今まで調べてきた情報（職業調べ、職場体験学習、高校調べ）をもとに、夢ノートを記入することを通じて、自分の将来への思いについて気付く。 夢ノートを通して、自身の進路選択についての課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考える（計画を立てる）。 	①	④ ⑤		・ワークシート
3. イイトカードづくり（1）	<ul style="list-style-type: none"> イトカードに最初に自分の良いところを記入し、次に班員のよいところを記入する。 	①			・発言 ・ワークシート
4.夢ノートの共有（1） 本時	<ul style="list-style-type: none"> 仲間に発表することで自分自身の思いについて再認識する。 仲間から、客観的な意見やアドバイスをもらうことにより自身の課題を設定する。 イトカードを通じて、自分の良さや長所に改めて気付く。 	②	⑥	⑧	・発言 ・ワークシート ・発表
5.夢ノートの修正 夢ノートを使いながらの進路選択（2）	<ul style="list-style-type: none"> 夢ノートを使った発表を振り返り、自分自身の課題等に気づき、自分の得意、不得意な部分を理解する。 課題解決の方法を考える。 夢ノートをもとに、自身の適性を理解しながら、進路選択に活かす。 	③	⑦	⑨	・発言 ・ワークシート



5 学習指導過程

	学習内容・学習活動	指導上の留意点	知	思	態	評価方法
導入 (5分)	1. 前回の学習を振り返る。 2. 本時の学習課題をつかむ。					
	将来の自分を見つめよう。					
展開 (35分)	3. 夢ノートを使いながら自分の将来についての発表をする（グループ）。 4. 発表とイイトコカードをもとに、発表者の夢ノートの内容について話し合う。同様の手順をグループ内全員行う。	・発表時の留意点を大きな文字で書かれたカードで黒板に貼り付ける。				
		・発表時は適切な声の大きさか、聞き手にとって分かりやすい内容になっているかを意識する。 ・話し合いの際は、積極的に仲間の良い面を出し合う。 ・イイトコカードを話し合いの中で積極的に使う。	②	⑥	⑧	・発表 ・発言
まとめ (10分)	5. 仲間からの意見を参考に夢ノートの内容を修正，加筆する。 6. 自他ともに記入したイイトコカードの内容のズレから，改めて自分のよさを見つめ直し，感想にまとめる。	・話し合いで出た内容を整理し，次回の授業に活かせるようにする。		⑥		・ワークシート

6 指導と評価の一体化に向けて（評価の見取り場面のポイント）

〈評価②について〉
生徒 A は，他者に伝える際に，**相手の視線を意識する**ことで，相手に伝わりやすくなるよう工夫した。



ポイント 3

発表の仕方です気づけたこと
紙だけを見方ではなく、聞いてくれる人たちの顔を見ながら話した。笑顔で、みんなが聞き取りやすい声で話した。自分が書いた紙を、みんなが見れるように工夫して見せた。

